

平成 30 年度 関東支部運営委員会（第 3 回） 議事録

日時：平成 30 年 12 月 21 日（金） 14:00～17:00 会場：地盤工学会会館								
支部長	安田 進	○	副支部長	若林 伸幸	×	副支部長	坂上 敏彦	○
副支部長 発表会Gリーダー	北詰 昌樹	×	副支部長	長尾 俊昌	○	監 事	北本 幸義	○
監 事	高橋 章浩	×	幹 事 長	峯岸 邦夫	○	副幹事長	石川 敬祐	○
副幹事長	福原 誠	○	山梨県G リーダー幹事	後藤 聡	×	茨城県G リーダー幹事	松島 亘志	×
栃木県G リーダー幹事	西村 友良	×	群馬県G リーダー幹事	若井 明彦	×	神奈川県G リーダー幹事	早野 公敏	×
千葉県G リーダー幹事	若月 洋朗	○	埼玉県G リーダー幹事	川本 建	×	研究委員会G リーダー幹事	渡邊 康司	○
会員SG リーダー幹事	田中 剛	×	会 員 G リーダー幹事	三上 武子	○	副支部長代理	飯野 正樹	○
全国大会	内村 太郎	○	オブザーバー	樋口 俊一	○	事務局	青木 美智子	○
栃木県G 代 理	清木 隆文	○						

○：出席予定，×：欠席予定，△：遅刻予定，空欄：未定

### 1. 前回議事録の確認

- ✓ 平成 30 年度第 2 回運営委員会議事録（9/12）  
→内容を~~確認~~し、承認された。

### 2. 最近のスケジュール

- ✓ 平成 30 年度第 1 回評議員会：平成 30 年 10 月 5 日（金）議事録  
→内容を~~確認~~した。
- ✓ 平成 30 年度第 2 回評議員会：平成 31 年 2 月 19 日（火）16:00～  
特別講演会：「南海トラフ巨大地震発生時の堆積盆地上に立地する都市部の地盤災害を考える」  
講師 中井健太郎氏（名古屋大学）  
→特別講演会の会費について~~会員（個人、特別、学生）は 1000 円、非会員は 2000 円とする。~~
- ✓ 第 16 回地盤工学会関東支部発表会 GeoKanto2019：平成 31 年 10 月 18 日（金）  
→2019 年 10 月 18 日はアジア会議と重なるために別の日程で再調整する。
- ✓ 平成 31 年度支部総会：平成 31 年 4 月（前年度，平成 30 年 4 月 27 日開催）  
開催日程と特別講演会の講師および内容の審議  
→総会の日程は、4 月 26 日（金）を第一候補とし、次年度に新任予定の役員の方に確認した後に決定する。  
→特別講演会について「SAR を用いたリモートセンシング（仮称）」として東京電機大の島田先生（旧 JAXA 研究員）に講師を依頼する予定とする。

### 3. 本部・他支部に関する連絡・報告・検討依頼事項

- (1) 11/12 付 平成 30 年度 支部交付金送金のお知らせ  
→内容を報告した。

- (2) 70周年、全国大会及び企画に関して
- 技術展示について申込みを開始しており、特別会員のランクに応じたプライオリティを付ける予定で検討している。(本部は募集サイトにも明記を希望している)
  - 市民向けの鐘塚公園での技術展示は、地盤調査車両や起震車などを予定しているが車両重量などに制約があり、協力を依頼している関東地整に管理者からの条件を連絡して調整を行う。
  - 参加申し込み、支払などの手続きについては一括でできるように外部委託する予定である。
  - 論文集のDVDについて従来の郵送手段が廃止されたことによりコストが倍増することもあり、配布を止めてダウンロード形式とする予定である。(会場にルータ設置予定)
  - 国土交通省関東地整の後援が決定し、他の助成についても申請中あるいは申請予定である。
- (3) 2018年度会費未納者リストご対応のお願い
- リスト中の大学関係者、企業関係者、団体については役員の中で関連する方からそれぞれ連絡を行い、会費の支払いを促す。
- (4) 名誉会員推挙候補者の推薦依頼について
- 活動実績から関東支部として田中邦熙氏、吉田弘氏、吉田喜忠氏、那須誠氏を推薦する。
- (5) 訃報
- 地盤工学会元参与、元九州支部副支部長、宮崎大学名誉教授  
藤本 廣 (ふじもと ひろし) 様 (享年 90 歳)
- 内容を報告した。

#### 4. 支部からの周知・連絡・検討事項

- (1) 平成 31 年度支部役員の変更・交代について
- 前任者の任期満了に伴う大学関係からの新任者については建築系や農業土木系の方に打診する。
  - 次年度に住宅地盤品質協会など委員会に協力している団体にも役員就任を打診する。
- (2) 支部評議員の選出
- 任期満了者への後任推薦送信票を確認した。
- (3) 平成 30 年度地盤工学会関東支部賞
- 応募 1 件、2019 年 1 月 25 日(金) 関東支部賞内容説明会開催予定
- 上記に合わせて顧問会も開催予定とする。
- (4) GeoKanto2018 優秀発表者賞
- 内容を報告した。
- (5) 平成 31 年度予算
- 各県 G の予算の記載方法について書き方を統一し、収入と支出が判りやすいものとする。
  - 各県 G について当初 5 万円の運営費を基にした予算書を作成する。(収入、支出ともに 0 円の予算書はなし)
- (6) 平成 30 年度予算執行状況 (平成 30 年 11 月末現在)
- 年度途中の予算状況を報告した。
  - 「新関東の地盤」については在庫が 7 冊となり、引き続き販売を促進する。

## 5. メール審議決定事項

- (1) (共催) 10/24 山梨県グループ「火山噴火および地震等による減災対策のための最近の話題」
  - (2) (共催) 10/30 埼玉県グループ「平成 30 年度技術講演会」
  - (3) (主催) 12/8 埼玉県グループ 野外巡検「行田市周辺における古代から近代までの土工事をめぐる」
  - (4) (後援) 12/18 日本テールアルメ協会・多数アンカー協会・アテムウォール協会「補強土構造物の維持管理に関する講習会」
  - (5) (主催) 12/13 栃木県グループ「ICT の地盤工学への適用前線・勉強会と現場見学会」
- (1)~(5)について内容を報告した。

## 6. 開催結果、進捗状況の報告（前回運営委員会以降、開催分を記載）

- (1) 9/21 ジオセミナー「宅地問題への地盤工学の社会貢献～書籍『法律家・消費者のための住宅地盤 Q&A』の発刊を踏まえて」参加者：22 名【開催済】
- (2) 10/3 「法律家・消費者のための住宅地盤 Q&A」講習会 参加者：15 名【開催済】
- (3) 10/5 特別講演会「東京外かく環状道路の整備について」参加者：42 名【開催済】
- (4) 10/7 後援：「富津市が誇る“東京湾要塞”の歴史と未来を今見つめる！」講演会 参加者：250 名【開催済】
- (5) 10/12 栃木県グループ「人工知能(AI)の最先端と地盤工学への応用」参加者：56 名【開催済】
- (6) 10/18 茨城県グループ「E D O - E P S 工法 現場見学会」\*定員に達しないため中止
- (7) 10/19 茨城県グループ「地盤の計測・探査技術見学会」参加者：26 名【開催済】
- (8) 10/24 後援：「火山噴火および地震等による減災対策のための最近の話題」参加者：160 名【開催済】
- (9) 10/31 共催：「平成 30 年度技術講演会」参加者：120 名【開催済】
- (10) 11/2 関東支部発表会「GeoKanto2018」論文投稿数 125 編 参加者：約 230 名【開催済】
- (11) 11/10 会員サービスグループ「第 13 回ソイルストラクチャーコンテスト」参加者：37 名【開催済】
- (12) 11/16 神奈川県グループ 平成 30 年度神奈川県地盤工学セミナー「建設プロジェクトを学ぶ会」【開催済】
- (13) 11/17 歴史遺産の地盤工学研究に関する研究委員会「人と水害 過去・現在・未来の講演会」参加者：135 名【開催済】
- (14) 12/4 群馬県グループ「前橋泥流堆積物がわかる～露頭の見学と講演～」参加者：100 名【開催済】
- (15) 12/7 共催：「茨城県の地質・勉強会」\*定員に達しないため中止
- (16) 12/8 埼玉県グループ野外巡検「行田市周辺における古代から近代までの土工事を巡る」参加者：22 名【開催済】
- (17) 12/13 栃木県グループ「勉強会および現場見学会～I C T の地盤工学への適用前線～開催のご案内」参加者：21 名【開催済】
- (18) 12/18 後援：補強土構造物の維持管理に関する講習会【開催済】

→(1)~(18)について内容を報告した.

## 7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

### (1) 会員サービス G

→「若手セミナー」についてリクルートを踏まえて大学生参加者をジオ関東と棲み分けるために対象を学部3年生とするなども検討する.

### (2) 茨城県 G

### (3) 栃木県 G

→官からの学会幹事への参加について支部からの依頼状を事前に発行した方が活動しやすいとの意見があり, 支部長名での依頼状を早々に発行する予定とする.

### (4) 群馬県 G

### (5) 山梨県 G

→次年度の幹事が2名しかいないために追加の新任委員について推薦があれば連絡する.

### (6) 千葉県 G

### (7) 埼玉県 G

→次年度の幹事として建築系の日本工大の田中先生へ参加を打診する.

### (8) 神奈川県 G

### (9) 研究委員会 G

→2委員会が期間満了となり, 新設の委員会の公募を準備中である.

→関東学院大の吉田先生が液状化の委員会の立ち上げを希望しており, 応募予定である.

### (10) 支部発表会実行委員会

→今年度から始めたスポンサー企業の技術紹介について内容や方法についての認知が十分に浸透しておらず, 所定の時間をオーバーする場合もあった.

→今回の実績で具体化されたが次年度の開催に向けてより判りやすく多くの企業から参加希望があるような運営を実行委員会で検討する.

### (11) 企画総務 G

→今年度開催した若手対象の宿泊セミナーについて次年度は全国大会の関係もあり, 6月上旬に開催する予定で準備を行う.

→70周年の企画としてInstagramを用いた写真コンクールについて会員サービス G が主体で実行する予定であり, 表彰方法について案を提示して検討を行う.

→山梨県 G で開催予定であった「南山東部土地区画整理事業高盛土工事の現場見学会」について運営を企画総務 G で引継ぎ, 気候条件などから次年度の春に開催予定で調整中である.

## 8. その他

### (1) 退会: なし

### (2) 新入会:

・株式会社防災技研 (4級)

(3) 級変更：

・川崎地質株式会社 2019年4月1日より4級から3級へ変更

(4) 次回打合せ：平成31年2月 日（平成30年2月13日に実施）

→支部長・幹事長との日程調整の結果、平成31年2月12日（火）10:00～とする。